

学校評価の結果について

(平成30年度)

学校法人旭川カトリック学園 砂川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

学校教育法に準じながら、教育の根底をキリストの教えにおき、カトリック的な人間観に基づき日々の生活の中で、真理を求め、人を愛することに喜びを感じる心を育てることにある。人格形成の最も大切な幼児期に <お祈り・親切・がまん> をモットーに、祈る心、愛する心、ありがとうの心を育つことを願い、幼児にふさわしい環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としている

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

昨年平成29年度から開始した子ども子育て新制度の施設型幼稚園として2年目となり、さらに補助教員を充実しより一層子どもたちにきめ細やかな保育を提供し質の高い保育を目指し、また子育て支援として保護者のニーズを考慮し地域に必要な幼稚園としていく。また園全体の取り組みとして、9月末に行われる道北ブロック大会公開保育園として、「神様ありがとう」をテーマにしカトリック教育の根本とする「お祈り」の「ありがとう・ごめんなさい・お願いします」の心の教育をさらに深めていくと共に、昨年に引き続き遊びや行事を通し異年齢との交流を大切に子どもたちが様々な人と関わることにより成長することをねらいとする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1. 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">園の教育理念・教育目標の共通理解のもと、年間、月間、週ごとに保育計画を学年ごとに話し合い計画を立て、その結果と反省を職員会議で話し合い翌月の保育計画につながるよう努めている。週案を基に日々流動的な保育を行い、子どもの様子を踏まえ反省と共に次週への課題・ねらいとしている。
2. 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">園舎内外の安全には十分留意し、毎朝、遊具等の安全点検を行い、職員全員で状況把握し危険が及ばぬよう配慮している。補修遊具については順次行っているが引き続き早急に行う。常に子どもの心を考え、様々な場面でカトリック園の教職員として愛を持って接している。職員全員が共通理解のもと園児ひとり一人の様子を把握し、教師間連絡を密にし、担任以外の園児にも対応していると共に異年齢との交流を大切にしている。
3. 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">組織の一員として自分の思いを伝えると共に他の教職員の意見を聞き、職員全員が一つのチームであることを自覚している。保育者としての意識と自覚と責任をもった言動で園児や保護者に接すると共に、子どもの心を大切に話をよく聞き、園児一人一人との信頼関係を築き園児の成長に繋げている。
4. 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	<ul style="list-style-type: none">毎月園便り、クラス便りを発行し園行事・連絡事項や園児・クラスの様子を保護者にお知らせしている。また個人的な相談や連絡にも電話や手紙等でその日に対応するようにしている。保護者からの相談や要望には職員会議等で提示し話し合いのもと真摯に対応し保護者のニーズを把握し可能なことは要望に応じよう心掛けている。今後も保護者に寄り添える対応をする。
5. 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域解放の努力をする。	<ul style="list-style-type: none">毎年行っている年長児の老人ホーム慰問は定着し施設に喜ばれ、また春、秋に行うあいさつ運動は園児にとっても様々な方々に触れる良い経験になっている。しかし町内への関わりが不十分で、園行事の参加案内ももう少し参加しやすい配慮が必要だった。砂小との交流は数回行われたが、他の小学校との交流は取れていないので今後それぞれの参観を行うなど幼小連携の基礎を作っていく必要がある。

<p>6. 研修と研究 研修・研究を積極的にを行い、専門性を高め、努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の専門性を深めるためそれぞれ研修、研究への意欲を持ち研修会に参加する努力はしているが、なかなか時間が取れないのが現状である。今後毎年数名ずつ研修等に積極的に参加すると共に、研修内容を分かち合い園内研修の充実を図っていく。
<p>7. 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園日より、クラス日より、園内写真掲示、地方新聞掲載等で保護者に園内活動をお知らせしている。また、学校評価結果においてもホームページ、園内閲覧で公表している。引き続き本園の特徴、良さ、教育目標の理解を深めていただき、より開かれた幼稚園を目指し情報公開に努め、地域に根ざした幼稚園づくりに努めていく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>毎年の自己評価を通し、個々の改善点を認識し次年度に向けての課題として取り組んでいる。少しずつではあるが個々としても園全体としても反省点を改善しながら次年度へと繋がっているのではないかと思います。しかし、毎年同じ部分での改善点が必要な状況である。それを踏まえさらに次年度に向け、学期末ごとに自己評価の振り返りをしそれぞれが自己の反省点を認識し改善努力をしていく。それと共に今後引き続き学校関係者評価を真摯に受け止め、実状と改善策を掲げ運営の向上と園の発展に努めることを目標としていく。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理 ・緊急災害時の具体的な対策 ・防災用具の常備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月火災地震避難訓練を行っているが、現状の社会情勢を考慮し今後さらに様々な状況でも園児確認や避難場所、保護者への通達方法を明確にしていく必要がある。また避難訓練を通して園児達に災害等に対応できる知識と行動について認識し身につけていく。防災用具の常備についても、防災頭巾は園児数常備し訓練にも用いているが、水・食料等についても検討し明確にしていく必要がある。
<p>地域社会との関わり ・小学校との連携 ・子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次段階の小学校入学のため小学校との連携がとれるよう具体的な方法を話し合い、各小学校へも理解を求めていく。また、入園前の未就園児や保護者に対しての子育て支援（ひよこルーム、園庭開放等）のあり方を、より機能的にまた入園に繋がるように教職員間で話し合い共通理解を深める。 ・幼稚園が町内会に身近な存在として受け入れられ、気軽に行事等に参加できるよう考慮していく。
<p>教員の研修と園内研修</p>	<p>施設給付型の幼稚園として、質の高い保育を目指し保育者一人ひとりが研修を重ねキャリアアップが必要である。そのため教職員各自が積極的に研修に参加できるよう体制を整え、よりよい保育を行い保護者に施設給付型の幼稚園に移行したことで子育て支援を十分に受けられている実感を持ってもらい、幼稚園や教職員を信頼してもらえるように保育者としての資質と技術の向上を目指していく。</p>

6. 学校関係者の評価

<p>本園は砂川市唯一の幼稚園ということで入園する場合が多い。教育内容については、当幼稚園の根底である心の教育「キリスト教精神に基づいたカトリック教育」を中心においた保育に理解と協力を得ている。その中で様々な活動を通し、子ども同士の関わり・保育者の愛情のある関わり・保護者同士の関わり・園と保護者の連携などを適切に行っているとの評価を得た。また「それぞれの子どもに応じた保育をしてくれる」との意見もあり、教職員に対しての評価や子どもや保護者の対応についても信頼度の高い結果を得ることができた。また要望として給食実施や勉強的な活動、行事が多く仕事をしている親には負担との意見もあった。この結果を踏まえ今後も園として保護者の多様な思いを真摯に受け止め園運営の参考にしていきたい。また社会情勢を踏まえながら、さらにカトリックの精神を生かし現状に留まることなく新しいことにも目を向け、子どもの心を大切にすより向上する保育に努めていきたい。</p>

7. 財務状況

<p>大手監査法人である太陽有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により効率的な運営に努めている。</p>
--